

2024(令和6)年度 環境ツーリズム学部

総合型選抜説明資料

2023年7月

環境ツーリズム学部入試委員会

1. 総合型選抜とは何か

(1) 大学にはアドミッションポリシー(その大学に入学してもらう人物に求める像)があります。そこで多くの大学には、大学全体で行う学力試験などの入試とは別に、大学や学部のポリシー(信条)に適合する志願者を、独自の選考方法で選抜する入試があります。長野大学では、この総合型選抜で一定数の入学者を選ぶことにしています。

(2) 総合型選抜では、長野大学環境ツーリズム学部の「アドミッションポリシー」を理解し、それに同意し、自ら適合性を示して「私こそがこの大学のこの学部に入って学ぶにふさわしい」とアピールしていただきます。それを認定してもらうことで、入学が許可されます。

(3) そこで、大学パンフレットや入学者選抜要項、ウェブページから、長野大学および環境ツーリズム学部の特色を理解してください。この理解が、「適合性アピール」の力を示す土台となります。

2. 総合型選抜の出願

(1) 入学者選抜要項 6 ページの総合型選抜の「◆アドミッションポリシー」および「◆入学前学習」に注目してください。ここにあるように、「学部の専門分野を学ぶ強い意欲」が問われるとともに、入学前学習プログラムに取り組むことが要件になります。総合型選抜は時期が早いこともあり、総合型選抜独自の入学前学習プログラムをしっかりと果たせることが、入学予定者の使命です。

(2) 募集人員や日程については、入学者選抜要項 6 ページを読んでください。環境ツーリズム学部の募集人員は 15 名です。

(3) 出願時に出願者自身が作成する最も重要な書類が、4 ページからなります「総合型選抜学習・活動計画書」です。

学習・活動計画書は、他の入試形態にはない総合型選抜独自のものです。この内容とそれに基づく面接が総合型選抜の可否判断を大きく左右します。当然のことですが、誰かに代筆してもらったり、ネット等から書き写したりしてはいけません。このような場合は面接官からすぐ見抜かれ、それが明らかな場合は大幅な減点となります。

繰り返しになりますが、総合型選抜は、「学ぶ意欲」が高いと認められること、「入学前学習プログラム」が果たせると認められること、が要点です。後者については、テーマに即した学習意欲が強く、合格後 2 月末(具体的な時期については合格後指示します)までに、学習・活動成果レポートをまとめられそうであることが大切です。こうした点が採点者の判断材料になります。

(4)「総合型選抜 学習・活動計画書」は、インターネット上で本学のホームページからダウンロードできます(*参照)。マス目のあるこの用紙に手書きするか、あるいはこの用紙と同じ一行字数と行数に書式設定した上で、ワードなどに打ち込んでプリントアウトしても構いません。手書きの場合には、先に別の紙で下書きしてから用紙に清書することをお勧めします。

*大学公式サイトHP →入試情報 →2024(令和6)年度入試 (総合型選抜 情報の項目)

3. 総合型選抜 学習・活動計画書の書き方

①「志望理由」欄に、環境ツーリズム学部を選んだ理由と長野大学で何を学びたいかを書いてください。「学部を選んだ理由」では、学部特色を理解しており自分の志望がそれと合致しているという説明が求められます。「大学で何を学びたいか」では、学部やコースという専門領域の学びの目標や、特に重点をおく学びのテーマ等を書いたり、課外活動など社会勉強に言及してそれを将来どう生かすかを表現するなど、大学での学習に向けた思いを工夫して書いてください。

②「自己PR」欄に、自分の特長、得意なことなどを書いてください。何か実績の記録があるようでしたら、それも紹介してください。できれば、長野大学環境ツーリズム学部を志望することにつながるような自己PRであることが望ましいです。

③「テーマ」には、行おうとしている学習・活動の概要がそれだけでもわかるよう簡潔な題名を表記してください。以下の3つの例を参考にしてください。

例1：日本の森林環境の～～～と～～～について

例2：長野県の観光産業の～～～に関する研究

例3：故郷～～町の地域おこしのための～～～提案

④「上記のテーマを選んだ理由」には、テーマに関わる問題意識とそこに思い至った経緯、あるいは、そのテーマについて学習することの効果や将来につながる内容などを書いてください。

⑤には、これまで関連して学習したことや、学習したり社会貢献した成果等を書いてください。また上記のテーマに至った自分の小・中・高校生活、自然や地域との関わり、そこで育まれた考え方について説明していただいても構いません。

自分で調査したり、地域と連携した事業に参加して行った成果が公表されたり、新聞・雑誌等でとりあげられているようであれば、ここに明記するとともに、業績点にもなる可能性がありますので、出願書類として公表資料等を提出してください。

⑥～⑨は、書く分量も多く総合型選抜では最も重要な部分です。

研究や調査をしたいこととそのための方法、対象となる地域や環境、人物があるならその

予定、文献を読むとしたら候補となる書物名か書物分野、などの学習構想を語ってください。そしてできれば、この入学前学習期間でとり着きたい成果（たとえば社会に向けた提案や地域研究に基づいたマップづくりなど）について、おおまかにでも述べてください。

また、この研究や調査と同時並行でやろうと思うこと（大学入学共通テストのどの科目を勉強し受けるのか、英検や漢検の級を取得するか）があれば、それも書き添えてください。

分量も多いので、適度な改行など、書式も整えてください。

4. 2次試験の面接とプレゼンテーションの方法

(1) 面接の進め方

- 面接は受験生1人ずつ行います。原則3人の教員が面接官として進行・採点します。面接時間は概ね30分です。
- まず前半の15分は、提出いただいた学習・活動計画書の内容をプレゼンテーションしていただきます。学習・活動計画書の③～⑨を簡潔に説明してください。
- 所定時間以上のプレゼンテーションは認めません。途中で打ち切ります。
- 後半の15分は、入学願書ならび学習・活動計画書の①～⑨、プレゼンテーションについて面接官より質問を行います。

(2) プレゼンテーションの方法と面接に持ち込み可能な資料

- 前半15分のプレゼンテーション方法例は以下のとおりです。
 - ① 提出いただいた学習・活動計画書のみを使って、発表する。
 - ② 模造紙（例えばA1サイズ）にプレゼンテーション内容を整理して、それを示しながら発表する。ただし自筆のもので、2枚程度に限ります。
 - ③ 学習・活動計画書の⑤で記載したこれまでの成果に関する資料（成果を紹介した公表資料、新聞記事等）や、⑥～⑨の詳細を示した別途資料を用いて発表する。
- 上記③の場合、コピーまたは複数プリントアウト可能な資料については、3部用意してください。これらについては返却しませんのでご承知おきください。それ以外の現物や資料については、一部ご用意いただき、掲示したり、回覧しながら説明してください。これについては、お持ち帰りください。

上記②③は、前半15分のプレゼンテーションで面接官が容易に理解できるものに限り、また面接終了後に、上記のいずれの資料も再度閲覧して、採点を行うことはありません。

5. 合格後の入学前学習について

(1) 合格したら、さっそく学習・活動計画書の③～⑨に基づいて入学前学習プログラムを始めてもらいます。このときに大学から「指導教員」1名を割り当て、それぞれの学習をサポートします。指導教員との対話を積み重ねて、数か月の入学前学習に励んでください。レポートの最終提出期限日、その前の中間報告書の作り方などについては、指導教員から説明があります。

(2) 指導を受けながらレポートを書いているうちに、学習・活動計画書の③～⑨で書いた計画が修正される場合があります。指導教員と相談して、適切な修正があるなら積極的に考えてください。

(3) 合格したら「入学予定者」にはなりますが、入学が正式に決定するのは4月です。万一、入学前学習を怠ったり、レポートを不十分にしか書けなかった場合には、入学許可を取り消される可能性があります。手を抜かずに正式入学にこぎつけてください。